

事業概要	ローカルエナジー(株)は、エネルギーの地産地消による新たな経済基盤の創出を目的として官民共同出資にて設立した地域新電力会社である。 主な事業内容は、電力小売・卸売事業、地域熱供給事業、電源熱源開発事業、省エネルギー改修事業、次世代エネルギー実証事業である。	
部署	電力事業部、営業部	
所在地	〒683-0812 米子市角盤町一丁目55番地2	
連絡先	(電話番号)0859-57-5415 (E-mail)localenergy@lenec.co.jp	
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	地域の再生可能エネルギー等を地産地消することによって、地域経済循環を創出し、持続的に成長し続ける地域。	
ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	脱炭素
		<ul style="list-style-type: none">地域新電力設立支援電力需給管理代行支援
	URL	<ul style="list-style-type: none">当社HP: https://www.lenec.co.jp環境省グッドライフアワード: https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/report201806-localenergy.html
上記ソリューションを提供できる地域について	全国、中国地方	

自者の特徴

【当社の取組概要】

- 当社は、鳥取県米子市及び地元企業5社の出資により設立した自治体新電力である。なお、設立後は、鳥取県境港市も出資・参画している。
- 平成28年4月からの電力小売全面自由化にあわせ、米子市公共施設に対する電力小売事業を開始し、地域の再生可能エネルギー（FIT電源）である米子市クリーンセンターや鳥取県企業局太陽光発電所等の地産電気を調達することで、エネルギーの地産地消を目指して取り組んでいる。



図. エネルギーの地産地消による資金循環モデル



写真. 米子市クリーンセンター



写真. 自社による電力需給管理

自者の特徴

【取組の特徴】

- 当社では、事業で得られた利益を原資として、次世代を担う小中学校・高等学校の児童・生徒向けの環境教育、非化石証書を活用したCO2フリー電気の供給(イベント時)等を行っている。また、避難所となる公民館に蓄電池を設置する等、地域のレジリエンス向上に取り組む等、事業を通じて、地域への経済・環境・社会価値の還元に努めている。
- この取組が、全国で同じ地域課題を抱えている自治体等の一助となるよう、主に自治体を対象とした視察受入を実施している。視察に訪れた自治体から、地域新電力の設立等に向けた支援等の依頼も多数受けている。



写真. 次世代を担う子ども達を対象にした環境教育

【当社が掲げるSDGs10の目標】

- 当社経営の柱として、SDGsにおける17の目標のうち、10の目標を掲げている。
- エネルギーの地産地消を通じたSDGsの推進への貢献が評価され、平成30年「第6回環境省グッドライフアワード」において、米子市と共同で『環境大臣賞自治体部門』を受賞し、地方創生及びSDGsの先進事例となっている。

SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

—